

A－ 遠隔医療の技術については、例えば手術のほうは今、実験的に大学なんかで行われているんですけども、遠隔による診断で慢性疾患のようなものは、地方では結構行われてると聞いたことがあるんですが、ただ、一般に言いますと、遠隔医療は規制が掛かってしまっていて、なかなかできない現状がありまして。でも、私は遠隔医療を進めること自体は、基本的にはよいことではないかと思ってるんですね。

B－ なるほど。私も基本的には、遠隔医療はもっとポジティブに取り組んでいいんじゃないかと思ってるんですね。医療での対面原則というものも気持ちとしては分かるんですけども、日本には医師がほとんどいない地域が結構たくさんありまして、そのような金科玉条的な対面原則は、国民をかえって危険にさらしているのではないかと、そんな気もするんです。恐らく、そんな対面原則を言ってしまうと、医療費がどんどんカットされてしまうんじゃないかと警戒されちゃいますし、医療費をそんなに増やせない現状において、国民の命を守るという観点から考えると、やはり遠隔医療はきちんとやっていくべきだと思うんですね。例えば DtoD がよいとか、DtoP とか、DtoN、ナースプラクティショナーはどうするかとか、各論はいろいろあるとは思いますが、ただ、看護系大学とか大学院をあれだけ造ったんですから、ナースプラクティショナーを養成して、医師の指示、遠隔医療の下で、ナースプラクティショナーがある程度の医療行為をするというのはいいんじゃないかと思ってるんです。

A－ なるほど。

(了)